

# 岡山県高P連 会報

発行：岡山県高等学校PTA連合会

事務局：〒700-0824岡山市北区内山下1-14-19 / TEL：086-234-1640 / FAX：086-234-1835

URL：http://www.okayama-koupren.jp / E-mail：okayama-koupren@ybb.ne.jp

## 第66号

### 『未来を育む力』

岡山県高等学校PTA連合会会長  
岡山地区連合会会長

浜崎 隆也



皆様におかれましては、日頃よりPTA活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。本年度縁あって、母校である岡山県立岡山芳泉高等学校のPTA会長を拝命し、囃らずも併せて岡山県高P連会長を務めさせていただきましたこととなりました。私自身の日常は、家庭と職場の往復が専らで、PTA活動とは全く無縁のものでした。このたび、PTA役員として活動させていただくことや、各PTA会員の皆様との出会いの中で多くの学びの機会を得られたことは、私にとって大変有意なことであると感じています。何分、不勉強、力不足ではありますがどうぞよろしくお願いたします。

さて、本年7月10日に選挙権の18歳以上への引き下げ後初の国政選挙が実施されました。高校生としての投票を経験されたお子様をお持ちの保護者の方も多いのではないのでしょうか。これからは、より若い世代の人たちが、国際社会から地域社会に至るまで、より広く関心を持つことが必要とされます。

過去に経験の無い選挙権の18歳以上への引き下げもあり、各校では主権者教育を実施しています。また、私たち保護者も学校・家庭・地域の連携をもって、子供たちに社会参画の機会の充実を図り、子供たちが社会の形成者の一員であることを意識付けする必要があるとあります。そして、子供たち自身で課題を多面的、多角的にとらえ、自分なりの考えを作る力を育むよう働きかけていかななくてはなりません。

私たちが親の世代に馴染みのある「有権者」という言葉も、最近では「主権者」と言った言葉に変わってきています。そのことからわかるように、自ら主体的な考えを持ち、グローバルな視点で国家社会を見つめ、ローカルな視点で身近な課題を知り、社会に接していく力が必要だと考えます。

また、学校教育の中では「アクティブラーニング」等を活用した取組も取り入れられつつあります。これからは学習方法も、授業の中で「先生から与えられるもの」から「自ら主体的、能動的に考え学ぶもの」へとさらに変化していくことと思えます。

### 「次の時代へ繋げたい」

旭東地区連合会会長 歳 森 宏

本年度、西大寺高等学校PTA会長、旭東地区PTA連合会会長を務めさせて頂くことになり、責任の重さに身の引き締まる思いです。微力ではございますが、可能な限り、積極的に取り組んでいきたいと思っております。とはいえ高校でのPTA会長職は初めてのことで新しい出会いと体験。不安と緊張、様々な気持ちが入り交錯している毎日です。

### 「人とのつながり」

備南地区連合会会長 分 島 智枝子

平素より、皆様にはPTA活動に多大な御尽力をいただき、深いご理解とご協力、心から感謝申しあげます。

私は、PTA活動を通して人とのつながりの大切さを感じる事ができました。PTAの活動の一環で、たまの祭りや、港フェスティバルに参加をして小さなお子様からお年寄りまで幅広い年代の方々と関わる事ができました。たまの祭りでは、たくさんさんの踊りの時代に合わせて、変化を遂げ、多くの方々の情熱というたすきを受け取りながら現在まで至っています。私は日頃「子育てに最善のマニュアルはない」と感じていますが、一人一人に対し、その時その時の時代で子育ては、変わっていくと思っています。その時、その時のPTAが、家庭がお互いに悩み、問題や課題を解決していく。その積み重ねが次の時代への架け橋であり、伝統になっていくと思っております。どうか平成28年度という1ページを共に汗を流しながら歩いていただければ幸いです。ご協力の程宜しくお願いたします。

す。たくさんの方とふれあう事で、私が知らなかった事などを教えていただく場となり、良い経験になりました。

これからも、人との繋が

### 「PTA活動を通して」

倉敷地区連合会会長 仲村 妙子



本年度の倉敷地区連合会会長を務めさせていただくことになりました川崎医科大学附属高等学校PTA会長の仲村です。このような大役を仰せつかったのは初めてのこと、身の引き締まる思いです。わからないことばかりですが、皆様方のご指導、ご協力をいただ

いて精一杯務めさせていただきまますので、どうぞよろしくお願いたします。本校は昭和45年に開校した全寮制の学校で、現在68人の生徒が全国から集まり、医科大学への進学を目指しています。勉強だけでなく、放課後には生徒全員の運動部への参加が義務づけられています。各部とも弱小ではありませんが、他校と

りを大切にしていきたいと思ひます。合同練習や試合にも参加させて頂いておりますので、どうぞよろしくお願いたします。高校生活は大人への土台作りとなる大切な時期です。多様化した情報化社会の中で、安心して充実した楽しい高校生活を過ごすことが、しっかりととした土台作りにつながるように思ひます。そのためには、身近にいる私たち保護者や学校の先生方による細かいサポートが重要になってくると思ひます。PTA活動を通して、保護者と学校の先生方が一層連携を深め、力を合せて子どもたちの成長を支えていくことが大切だと思ひるようになります。

### 「日常の日々こそ奇跡」

備西地区連合会会長 川井 広 沖

地域の皆様に支えられて、明治37年の創立から112年を迎えた県立玉島高校のPTA会長を務めさせていただきます。PTA活動の醍醐味は、

出合いにこそあると日々思っている私にとりまして、こうしたご縁は、なものにも代えがたい宝物です。何げない日常の中での子どもたちの一瞬の煌めき。地域の人と交換する笑顔とメール。地域の歴史や伝統、文化に触れた時の発見と感動。こうした、人と人との

出合いだけではないすべての出合いの中に、豊かな感性をほぐくむ種火があると思ひています。この種火が、子どもたち

### 「世代を繋ぐ使命」

備北地区連合会会長 秦 教 仁



高等学校のPTA活動に携わるようになって4年目となりました。多くの方との出合い、そして支えを頂き心からの感謝を感じているところで

特にPTA会長としてのこの3年間は、様々な学校行事への参加や、地域の会合への出席などを通じて感じる事も多くあります。中でも、子供達の成長、新しい世代としての増していく頼もしさは親としても感慨深いものがあります。

幼く頼りなかつた子供達が次第に逞しく、大人びた風貌へと変わり、人としての魅力を増していく、そんな様子を目の当たりにした3年でもありました。

にも保護者の皆様にも灯るよう、学校や家庭や地域の中での出合いが幸であるように願ひつつ、日々の活動をさせていたただきたいと思ひています。青春の一瞬一瞬が奇跡の積み重ね。その日常に感謝しながら。

そして今感じるのは、そうした子供達の成長を支える私たち大人の役割は何なのかという事です。「親は無くとも子は育つ」と言ひます。しかし、子の成長に親は大きな影響を与えます。「ただ育つ」ではなく、「どう育つのか」という面において、きつと親の子供にとつての存在価値があるのだと思ひます。

親が正しく愛情をかければ、子供は愛情深い人に育つでしょう。親がデタラメなら子供のデタラメになるかも知れません。私たちが親が子供に対して何を与えていくか、それが世代を繋ぐという事になるのだと感じます。私は子供達に伝えるべき

ものとして「正しい想ひ」と「熱い心」が必要だと思ひています。「正しい想ひ」とは自分の欲に動かされるものではなく「人のために動く」という志に基づくもの。「熱い心」とは自分の想ひを人に伝え広げていく事のできるもの。そうした事を私たち親が自らの在り方で示す事が出来たらと感じます。そしてその中で、子供達は自分自身の価値を知り、自信をもって人生を生き

### 「本質」

美作地区連合会会長 橋野 耕 一

平素より、皆様にはPTA活動に多大なご尽力をいただき、ありがとうございます。

この度美作地区連合会会長を務めさせていただいて思うことは、小学校、中学校を通じてPTA活動に積極的に参加される方よりも、知り合いを通じて勧められて参加されている方が大半を占めているのが現状だということです。PTA活動のイメージは、非常に大変で、かなり自分の時間を会議等活動の時間に充てなければならぬと考へているのではないのでしょうか。しかし活動の本質は自分の子供たちが通う学校に対して、親の立場から協力する気持ちにあるのではないのでしょうか。

欲しい。「人の喜びをもって自らの喜びとする」子供達にそうした成長の支えとなる事こそが私たちの親の世代の使命であり、世代を繋いでいく事となるのだと私は感じています。これからもPTA活動にあたっては、地域、学校と共に微力ではありますが、想ひをもった活動にがんばっていきたくと思ひますので、どうかよろしくお願ひ致します。

人はイメージによつて自分の考えを左右されやすいのは、PTA活動ばかりではありません。特に人から勧められるような出来事は、その人が感じたイメージであつて、決して本質ではないと思ひます。本質を知るには、自分で参加し、自分で判断すること、一番の近道だと思ひますので、より多くの方がPTA活動に参加して、本質を知って頂きたいと思ひます。

子供たちは、これからの人生を楽しむ為にも本質を知る力量、考え方を身につけてもらいたいと思ひます。その為には親が、人生を楽しく挑戦している姿を見せ続けていくことが、子育ての本質だと思ひます。

子供たちは、これからの人生を楽しむ為にも本質を知る力量、考え方を身につけてもらいたいと思ひます。その為には親が、人生を楽しく挑戦している姿を見せ続けていくことが、子育ての本質だと思ひます。

# 平成28年度岡山県高等学校PTA連合会及び安全互助会総会報告

平成28年6月21日(火)  
ピュアリティまきびにおいて開催しました。

川上会長の挨拶に続き、県教育庁内田教育次長は、「昨年度県教委が行ったPTAの意識調査の成果と課題を今後の活動に活かして欲しい」と述べられました。

岡山県高等学校PTA連合会功労者表彰(表彰状13名)を行い、次に平成27年度事業報告・会計決算報告・監査報告、安全互助会についての説明、平成28年度の新役員を紹介し、事業計画(案)・会計予算(案)を協議しました。

また、総会閉会后、研修会(講演)を実施しました。

岡山県教育庁高校教育課 総括主幹 妹尾英津子 氏 最初に、岡山県での主権者教育の主旨と推進について、県教育委員会の取組を説明されました。

次に「地域や社会をよくするために何をすべきか」を考えることがある生徒の割合をみて、主権者教育の成果の指標としている。高校生が現実社会と関わるのが大切で、投票は一つの重要な現れであり、まずは最初の選挙が大切です。と話されました。

【講演】  
「18歳選挙時代の到来と高校生の政治参加」  
岡山大学大学院教育学研究科 教授 桑原 敏典 氏

社会への関心を高める授業についての改革、地域作りの担い手の育成をめざしたプログラムの開発など、主権者教育の最前線の研究をされている桑原先生に講演いただきました。

主権者教育の意義と課題についての説明があり、高校生自らが国や社会の問題を自分のことと捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく新しい主権者像が求められている。そして、常に学び続ける事が重要でありその事で質の高い投票行動になる。

高校生は自分の夢を持ち素晴らしい能力や、正しい判断力も持っている。環境や、チャンスがあれば意見を述べる事ができる。その能力を引き出していける様にするのが教師や、保護者の役目である。と教えていただきました。

表彰状受賞者(13名) 敬称略  
高 原 洋 一 郎 (岡山大安寺)  
京 才 恒 香 (岡山東商業)  
湯 浅 実 佐 (山陽女子)  
明 見 ゆかり (備前緑陽)  
太 田 正 孝 (岡山白陵)  
難 波 章 一 (興陽)  
飯 田 洋 介 (玉野)  
山 本 香 津 美 倉 (敦南)  
棟 長 クルミ (倉敷)  
龍 寿 志 井 (原野)  
中 野 久 裕 (おかやま山陽)  
瀬 田 雄 一 (真備山陽)  
岡 悦 宣 (津山)

感謝状受賞者(109名)  
大 林 裕 一 (岡山朝日)  
村 尾 昌 彦 (岡山芳泉)  
小 川 卓 志 (岡山芳泉)  
岸 田 博 美 (岡山芳泉)  
服 部 妙 子 (岡山芳泉)  
小 川 浩 基 (岡山一宮)  
竹 原 多 美 子 (岡山工業)  
長 島 巧 壺 (岡山工業)  
武 久 伸 輔 (岡山東商業)  
山 本 素 子 (岡山東商業)  
石 井 依 久 世 (岡山東商業)  
岡 下 美 香 (岡山東商業)  
三 宅 直 人 (岡山東商業)  
岡 府 島 貞 司 (岡山芳泉T)  
歳 森 宏 西 (大寺P)  
川 井 弘 冲 玉 (島P)  
秦 教 仁 (高梁P)  
橋 野 耕 一 (津山P)  
分 島 智 枝 子 (玉野商業P)  
仲 村 妙 子 (川崎医大附属P)  
山 田 郁 恵 (岡山県作陽P)

岡山県教育庁高校教育課 総括主幹 妹尾英津子 氏 最初に、岡山県での主権者教育の主旨と推進について、県教育委員会の取組を説明されました。

次に「地域や社会をよくするために何をすべきか」を考えることがある生徒の割合をみて、主権者教育の成果の指標としている。高校生が現実社会と関わるのが大切で、投票は一つの重要な現れであり、まずは最初の選挙が大切です。と話されました。

【講演】  
「18歳選挙時代の到来と高校生の政治参加」  
岡山大学大学院教育学研究科 教授 桑原 敏典 氏

社会への関心を高める授業についての改革、地域作りの担い手の育成をめざしたプログラムの開発など、主権者教育の最前線の研究をされている桑原先生に講演いただきました。

主権者教育の意義と課題についての説明があり、高校生自らが国や社会の問題を自分のことと捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく新しい主権者像が求められている。そして、常に

学び続ける事が重要でありその事で質の高い投票行動になる。



平成28年度 役員

会長 浜崎 隆也 (岡山芳泉P)  
副会長 黒瀬 一雄 (私学保護者会P)  
理事 岡府島 貞司 (岡山芳泉T)  
歳森 宏西 (大寺P)  
川井 弘冲玉 (島P)  
秦 教仁 (高梁P)  
橋野 耕一 (津山P)  
分島 智枝子 (玉野商業P)  
仲村 妙子 (川崎医大附属P)  
山田 郁恵 (岡山県作陽P)

表彰状受賞者(13名) 敬称略  
高 原 洋 一 郎 (岡山大安寺)  
京 才 恒 香 (岡山東商業)  
湯 浅 実 佐 (山陽女子)  
明 見 ゆかり (備前緑陽)  
太 田 正 孝 (岡山白陵)  
難 波 章 一 (興陽)  
飯 田 洋 介 (玉野)  
山 本 香 津 美 倉 (敦南)  
棟 長 クルミ (倉敷)  
龍 寿 志 井 (原野)  
中 野 久 裕 (おかやま山陽)  
瀬 田 雄 一 (真備山陽)  
岡 悦 宣 (津山)

感謝状受賞者(109名)  
大 林 裕 一 (岡山朝日)  
村 尾 昌 彦 (岡山芳泉)  
小 川 卓 志 (岡山芳泉)  
岸 田 博 美 (岡山芳泉)  
服 部 妙 子 (岡山芳泉)  
小 川 浩 基 (岡山一宮)  
竹 原 多 美 子 (岡山工業)  
長 島 巧 壺 (岡山工業)  
武 久 伸 輔 (岡山東商業)  
山 本 素 子 (岡山東商業)  
石 井 依 久 世 (岡山東商業)  
岡 下 美 香 (岡山東商業)  
三 宅 直 人 (岡山東商業)  
岡 府 島 貞 司 (岡山芳泉T)  
歳 森 宏 西 (大寺P)  
川 井 弘 冲 玉 (島P)  
秦 教 仁 (高梁P)  
橋 野 耕 一 (津山P)  
分 島 智 枝 子 (玉野商業P)  
仲 村 妙 子 (川崎医大附属P)  
山 田 郁 恵 (岡山県作陽P)

小 原 美代 (山陽女子)  
澤 寿美 (山陽女子)  
今 中 美々 (就実)  
土 師 充奈子 (就実)  
走 崎 芳枝 (就実)  
小 坂 田 裕 造 (明誠学院)  
吉 岡 孝 通 (明誠学院)  
滝 本 省 三 (明誠学院)  
鳥 羽 美 加 (明誠学院)  
正 田 恵 子 (明誠学院)  
松 森 誠 司 (西大寺)  
土 方 哲 郎 (備前緑陽)  
加 藤 里 香 (和気園谷)  
山 本 博 章 (瀬戸)  
河 本 麻 里 子 (瀬戸)  
梶 川 由 紀 子 (瀬戸)  
石 川 加 代 子 (瀬戸)  
歳 森 安 岡 (山学芸館)  
中 川 則 子 (岡山学芸館)  
森 瑞 浩 (吉備高原学園)  
文 谷 昌 史 (倉敷鷺羽)  
岡 弘 美 (倉敷鷺羽)  
塩 田 恭 子 (倉敷鷺羽)  
石 原 緑 (倉敷鷺羽)  
安 藤 ゆかり (倉敷鷺羽)  
丸 山 明 玉 (野光南)  
九 田 浩 子 (野光南)  
吉 田 大 輔 (野光南)  
藤 原 恭 介 (野光南)  
中 村 欽 一郎 (倉敷天城)  
植 野 裕 樹 (倉敷天城)  
山 形 美 由 紀 (倉敷天城)  
原 田 加 奈 子 (倉敷南)  
福 井 しずか (倉敷南)  
神 崎 美 美 子 (倉敷南)  
中 村 勇 倉 (古池南)  
仁 熊 千 尋 (倉敷古池南)  
中 村 蘭 子 (倉敷古池南)  
寺 内 隆 倉 (古池南)  
山 本 みのり (倉敷古池南)  
小 郷 早 苗 (倉敷古池南)  
宗 田 健 倉 (倉敷古池南)  
大 島 秀 彰 (倉敷古池南)  
小 川 千 春 (倉敷古池南)

高 谷 真 山 美 倉 (倉敷工業)  
板 谷 山 美 子 倉 敷 (倉敷工業)  
佐 々 木 智 樹 水 戸 (倉敷工業)  
前 田 祐 紀 恵 玉 (倉敷工業)  
古 田 明 宏 笠 (岡山)  
大 塚 真 山 美 笠 (岡山)  
坂 川 晴 美 笠 (岡山)  
立 間 益 之 笠 (岡山)  
大 本 益 之 笠 (岡山)  
池 田 俊 正 笠 (岡山)  
竹 井 博 範 井 (岡山)  
小 川 恭 史 金 光 学 園 (岡山)  
杉 岡 奈 美 倉 倉 (岡山)  
宮 本 礼 子 倉 倉 (岡山)  
河 田 頼 治 倉 倉 (岡山)  
操 田 志 月 倉 倉 (岡山)  
種 本 智 通 子 倉 倉 (岡山)  
前 原 浩 之 興 讓 館 (岡山)  
藤 原 誠 岡 山 龍 谷 (岡山)  
北 川 光 子 岡 山 龍 谷 (岡山)  
宮 本 由 里 子 岡 山 龍 谷 (岡山)  
安 本 光 彦 岡 山 龍 谷 (岡山)  
浅 沼 功 一 岡 山 龍 谷 (岡山)  
林 司 朗 岡 山 龍 谷 (岡山)  
木 山 ひ ろ こ 岡 山 龍 谷 (岡山)  
田 原 隆 盛 岡 山 龍 谷 (岡山)  
三 上 晴 久 岡 山 龍 谷 (岡山)  
池 田 和 美 岡 山 龍 谷 (岡山)  
竹 内 純 枝 岡 山 龍 谷 (岡山)  
田 之 原 小 雪 宇 治 南 (岡山)  
植 村 良 介 岡 山 龍 谷 (岡山)  
中 空 敬 志 岡 山 龍 谷 (岡山)  
德 永 由 子 岡 山 龍 谷 (岡山)  
森 尚 美 津 山 龍 谷 (岡山)  
奥 田 賢 二 津 山 龍 谷 (岡山)  
西 村 直 樹 津 山 龍 谷 (岡山)  
西 村 真 由 美 津 山 龍 谷 (岡山)  
角 田 美 德 津 山 龍 谷 (岡山)  
金 谷 博 美 津 山 龍 谷 (岡山)  
入 澤 ひとみ 津 山 龍 谷 (岡山)  
勝 田 直 樹 津 山 龍 谷 (岡山)  
山 本 広 文 岡 山 龍 谷 (岡山)  
田 測 浩 巴 岡 山 龍 谷 (岡山)

高 谷 真 山 美 倉 (倉敷工業)  
板 谷 山 美 子 倉 敷 (倉敷工業)  
佐 々 木 智 樹 水 戸 (倉敷工業)  
前 田 祐 紀 恵 玉 (倉敷工業)  
古 田 明 宏 笠 (岡山)  
大 塚 真 山 美 笠 (岡山)  
坂 川 晴 美 笠 (岡山)  
立 間 益 之 笠 (岡山)  
大 本 益 之 笠 (岡山)  
池 田 俊 正 笠 (岡山)  
竹 井 博 範 井 (岡山)  
小 川 恭 史 金 光 学 園 (岡山)  
杉 岡 奈 美 倉 倉 (岡山)  
宮 本 礼 子 倉 倉 (岡山)  
河 田 頼 治 倉 倉 (岡山)  
操 田 志 月 倉 倉 (岡山)  
種 本 智 通 子 倉 倉 (岡山)  
前 原 浩 之 興 讓 館 (岡山)  
藤 原 誠 岡 山 龍 谷 (岡山)  
北 川 光 子 岡 山 龍 谷 (岡山)  
宮 本 由 里 子 岡 山 龍 谷 (岡山)  
安 本 光 彦 岡 山 龍 谷 (岡山)  
浅 沼 功 一 岡 山 龍 谷 (岡山)  
林 司 朗 岡 山 龍 谷 (岡山)  
木 山 ひ ろ こ 岡 山 龍 谷 (岡山)  
田 原 隆 盛 岡 山 龍 谷 (岡山)  
三 上 晴 久 岡 山 龍 谷 (岡山)  
池 田 和 美 岡 山 龍 谷 (岡山)  
竹 内 純 枝 岡 山 龍 谷 (岡山)  
田 之 原 小 雪 宇 治 南 (岡山)  
植 村 良 介 岡 山 龍 谷 (岡山)  
中 空 敬 志 岡 山 龍 谷 (岡山)  
德 永 由 子 岡 山 龍 谷 (岡山)  
森 尚 美 津 山 龍 谷 (岡山)  
奥 田 賢 二 津 山 龍 谷 (岡山)  
西 村 直 樹 津 山 龍 谷 (岡山)  
西 村 真 由 美 津 山 龍 谷 (岡山)  
角 田 美 德 津 山 龍 谷 (岡山)  
金 谷 博 美 津 山 龍 谷 (岡山)  
入 澤 ひとみ 津 山 龍 谷 (岡山)  
勝 田 直 樹 津 山 龍 谷 (岡山)  
山 本 広 文 岡 山 龍 谷 (岡山)  
田 測 浩 巴 岡 山 龍 谷 (岡山)

高 谷 真 山 美 倉 (倉敷工業)  
板 谷 山 美 子 倉 敷 (倉敷工業)  
佐 々 木 智 樹 水 戸 (倉敷工業)  
前 田 祐 紀 恵 玉 (倉敷工業)  
古 田 明 宏 笠 (岡山)  
大 塚 真 山 美 笠 (岡山)  
坂 川 晴 美 笠 (岡山)  
立 間 益 之 笠 (岡山)  
大 本 益 之 笠 (岡山)  
池 田 俊 正 笠 (岡山)  
竹 井 博 範 井 (岡山)  
小 川 恭 史 金 光 学 園 (岡山)  
杉 岡 奈 美 倉 倉 (岡山)  
宮 本 礼 子 倉 倉 (岡山)  
河 田 頼 治 倉 倉 (岡山)  
操 田 志 月 倉 倉 (岡山)  
種 本 智 通 子 倉 倉 (岡山)  
前 原 浩 之 興 讓 館 (岡山)  
藤 原 誠 岡 山 龍 谷 (岡山)  
北 川 光 子 岡 山 龍 谷 (岡山)  
宮 本 由 里 子 岡 山 龍 谷 (岡山)  
安 本 光 彦 岡 山 龍 谷 (岡山)  
浅 沼 功 一 岡 山 龍 谷 (岡山)  
林 司 朗 岡 山 龍 谷 (岡山)  
木 山 ひ ろ こ 岡 山 龍 谷 (岡山)  
田 原 隆 盛 岡 山 龍 谷 (岡山)  
三 上 晴 久 岡 山 龍 谷 (岡山)  
池 田 和 美 岡 山 龍 谷 (岡山)  
竹 内 純 枝 岡 山 龍 谷 (岡山)  
田 之 原 小 雪 宇 治 南 (岡山)  
植 村 良 介 岡 山 龍 谷 (岡山)  
中 空 敬 志 岡 山 龍 谷 (岡山)  
德 永 由 子 岡 山 龍 谷 (岡山)  
森 尚 美 津 山 龍 谷 (岡山)  
奥 田 賢 二 津 山 龍 谷 (岡山)  
西 村 直 樹 津 山 龍 谷 (岡山)  
西 村 真 由 美 津 山 龍 谷 (岡山)  
角 田 美 德 津 山 龍 谷 (岡山)  
金 谷 博 美 津 山 龍 谷 (岡山)  
入 澤 ひとみ 津 山 龍 谷 (岡山)  
勝 田 直 樹 津 山 龍 谷 (岡山)  
山 本 広 文 岡 山 龍 谷 (岡山)  
田 測 浩 巴 岡 山 龍 谷 (岡山)

高 谷 真 山 美 倉 (倉敷工業)  
板 谷 山 美 子 倉 敷 (倉敷工業)  
佐 々 木 智 樹 水 戸 (倉敷工業)  
前 田 祐 紀 恵 玉 (倉敷工業)  
古 田 明 宏 笠 (岡山)  
大 塚 真 山 美 笠 (岡山)  
坂 川 晴 美 笠 (岡山)  
立 間 益 之 笠 (岡山)  
大 本 益 之 笠 (岡山)  
池 田 俊 正 笠 (岡山)  
竹 井 博 範 井 (岡山)  
小 川 恭 史 金 光 学 園 (岡山)  
杉 岡 奈 美 倉 倉 (岡山)  
宮 本 礼 子 倉 倉 (岡山)  
河 田 頼 治 倉 倉 (岡山)  
操 田 志 月 倉 倉 (岡山)  
種 本 智 通 子 倉 倉 (岡山)  
前 原 浩 之 興 讓 館 (岡山)  
藤 原 誠 岡 山 龍 谷 (岡山)  
北 川 光 子 岡 山 龍 谷 (岡山)  
宮 本 由 里 子 岡 山 龍 谷 (岡山)  
安 本 光 彦 岡 山 龍 谷 (岡山)  
浅 沼 功 一 岡 山 龍 谷 (岡山)  
林 司 朗 岡 山 龍 谷 (岡山)  
木 山 ひ ろ こ 岡 山 龍 谷 (岡山)  
田 原 隆 盛 岡 山 龍 谷 (岡山)  
三 上 晴 久 岡 山 龍 谷 (岡山)  
池 田 和 美 岡 山 龍 谷 (岡山)  
竹 内 純 枝 岡 山 龍 谷 (岡山)  
田 之 原 小 雪 宇 治 南 (岡山)  
植 村 良 介 岡 山 龍 谷 (岡山)  
中 空 敬 志 岡 山 龍 谷 (岡山)  
德 永 由 子 岡 山 龍 谷 (岡山)  
森 尚 美 津 山 龍 谷 (岡山)  
奥 田 賢 二 津 山 龍 谷 (岡山)  
西 村 直 樹 津 山 龍 谷 (岡山)  
西 村 真 由 美 津 山 龍 谷 (岡山)  
角 田 美 德 津 山 龍 谷 (岡山)  
金 谷 博 美 津 山 龍 谷 (岡山)  
入 澤 ひとみ 津 山 龍 谷 (岡山)  
勝 田 直 樹 津 山 龍 谷 (岡山)  
山 本 広 文 岡 山 龍 谷 (岡山)  
田 測 浩 巴 岡 山 龍 谷 (岡山)

高 谷 真 山 美 倉 (倉敷工業)  
板 谷 山 美 子 倉 敷 (倉敷工業)  
佐 々 木 智 樹 水 戸 (倉敷工業)  
前 田 祐 紀 恵 玉 (倉敷工業)  
古 田 明 宏 笠 (岡山)  
大 塚 真 山 美 笠 (岡山)  
坂 川 晴 美 笠 (岡山)  
立 間 益 之 笠 (岡山)  
大 本 益 之 笠 (岡山)  
池 田 俊 正 笠 (岡山)  
竹 井 博 範 井 (岡山)  
小 川 恭 史 金 光 学 園 (岡山)  
杉 岡 奈 美 倉 倉 (岡山)  
宮 本 礼 子 倉 倉 (岡山)  
河 田 頼 治 倉 倉 (岡山)  
操 田 志 月 倉 倉 (岡山)  
種 本 智 通 子 倉 倉 (岡山)  
前 原 浩 之 興 讓 館 (岡山)  
藤 原 誠 岡 山 龍 谷 (岡山)  
北 川 光 子 岡 山 龍 谷 (岡山)  
宮 本 由 里 子 岡 山 龍 谷 (岡山)  
安 本 光 彦 岡 山 龍 谷 (岡山)  
浅 沼 功 一 岡 山 龍 谷 (岡山)  
林 司 朗 岡 山 龍 谷 (岡山)  
木 山 ひ ろ こ 岡 山 龍 谷 (岡山)  
田 原 隆 盛 岡 山 龍 谷 (岡山)  
三 上 晴 久 岡 山 龍 谷 (岡山)  
池 田 和 美 岡 山 龍 谷 (岡山)  
竹 内 純 枝 岡 山 龍 谷 (岡山)  
田 之 原 小 雪 宇 治 南 (岡山)  
植 村 良 介 岡 山 龍 谷 (岡山)  
中 空 敬 志 岡 山 龍 谷 (岡山)  
德 永 由 子 岡 山 龍 谷 (岡山)  
森 尚 美 津 山 龍 谷 (岡山)  
奥 田 賢 二 津 山 龍 谷 (岡山)  
西 村 直 樹 津 山 龍 谷 (岡山)  
西 村 真 由 美 津 山 龍 谷 (岡山)  
角 田 美 德 津 山 龍 谷 (岡山)  
金 谷 博 美 津 山 龍 谷 (岡山)  
入 澤 ひとみ 津 山 龍 谷 (岡山)  
勝 田 直 樹 津 山 龍 谷 (岡山)  
山 本 広 文 岡 山 龍 谷 (岡山)  
田 測 浩 巴 岡 山 龍 谷 (岡山)

# 第58回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会(香川大会)報告

様子の発表

平成28年7月15日(金) 高松市レクザムホールにおいて「発信！PTAふるさとソコチカラ」空と海オリーブのくから」を大会テーマに開催され約1,900名を超える参加があり、岡山県から218名が出席しました。

午前中は、開会行事の後、講師に演出家 宮本 亜門氏を迎え、「違うから面白い、違わないから素晴らしい」と題した講演が行われ午後からは、研究協議、高校生の発表がありました。

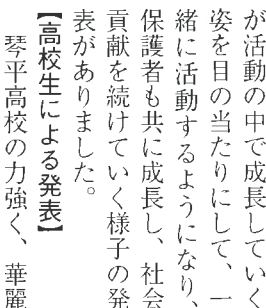
「被災地交流を通して」香川県立琴平高等学校PTA生徒が結成したボランティア同好会の活動を見守ってきたPTAが、生徒が活動の中で成長していく姿を目の当たりにして、一緒に活動するようになり、保護者も共に成長し、社会貢献を続けていく様子の発表がありました。

●進路指導とPTA

「社会に求められる人づくり」探求型人材育成とPTA、高知県立高知工業高等学校PTA生徒、教職員、保護者が協力し、「自らの力を高め「生きる力」を培い、将来学び続ける事ができる人材の育成を図る様子の発表

●ポランティアとPTA

「被災地交流を通して」香川県立琴平高等学校PTA生徒が結成したボランティア同好会の活動を見守ってきたPTAが、生徒が活動の中で成長していく姿を目の当たりにして、一緒に活動するようになり、保護者も共に成長し、社会貢献を続けていく様子の発表がありました。



●高校生による発表

琴平高校の力強く、華麗な演技の「リズムなきなた」坂出第一高校によるきびきびとした動きの中に繊細

な演技の「リズムなきなた」坂出第一高校によるきびきびとした動きの中に繊細

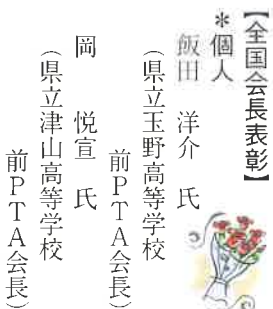
【研究協議】

●学校教育とPTA

「学校教育とPTA」地域で織り成すふれあまつり

岡山県立井原高等学校PTA井原市の一大イベントとなつて「ふれあまつり」に生徒、保護者が参加し、学校と地域社会が一体となつて活発に活動している

岡山県立井原高等学校PTA井原市の一大イベントとなつて「ふれあまつり」に生徒、保護者が参加し、学校と地域社会が一体となつて活発に活動している



な手つきで舟盛りを仕上げ「料理パフォーマンス」躍動感あふれ、息のあつた演技で仕上げた高松商業高校「書道パフォーマンス」どの発表も素晴らしく、会場を魅了させました。

最後に、来年の開催予定の山口県から「おいでませやまぐちへ」との言葉で大会は閉幕しました。



# 第66回全国高等学校PTA連合会大会(千葉大会)報告

平成28年8月25日(木) 26日(金)幕張イベントホール・国際展示場9ホールを会場に開催し、全国から約一万人(岡山県から144名)が参加しました。大会のテーマを「再発見！愛」今こそ信じよう愛の絆」とし、大きく変化する社会の中で不安を抱えて生きていく子ども達を支えていく「学校」「家庭」「地域社会」とのつながり、「愛の絆」を確かなものとするために

大人ができる事は何かを7つの分科会場で、事例発表による討議が行われました。

第1分科会場で岡山県立井原高等学校PTA(発表者 岡本健博会長)による「地域で織り成すふれあまつり」をテーマに生徒・PTA・地域社会がそれぞれ、愛の絆で支え合い活動している様子を全国に向けて発信しました。

●表彰式

開会式終了後、文部科学大臣表彰に続き全国会長表彰(個人・団体・役員等)が行われ、岡山県からの受賞者は次のとおりです。

【全国会長表彰】

＊個人

飯田 洋介 氏 (県立玉野高等学校 前PTA会長)

岡 悦宣 氏 (県立津山高等学校 前PTA会長)

＊団体

山陽女子高等学校 緑会 おかやま山陽高等学校保護者会

＊役員

川上 俊久 氏 (岡山県高等学校 PTA連合会前会長)

丸山 正人 氏 (岡山県高等学校PTA 連合会前事務局長)

◆基調講演

講師 千葉敬愛短期大学 学長 明石 要一 氏

演題 「高校生の自立を支援するPTA活動の在り方」今こそ信じよう高校生を、高校生をより元気にしていく為に「早寝・早起き・朝ご飯」、「高校生のボランティア参加促進の支援」、「褒めて叱って育てる」という3つの運動の推進がPTAの役割であると教えていただきました。

◆記念講演

講師 女優 市原 悦子 氏

演題 「私の選んだ女優の道」感謝する心、人を思いやる気持ちなどは小さい頃の生活の中の体験から身についたものだご自分の体験談を話されました。その後、2つの作品の朗読をしてく

だざり、参加者は話の中に引き込まれ感動しました。【アトラクション】 高校生の思いの詰まった大会テーマソングを歌う美しい歌声に魅了され、吹奏楽、ジャズ、ダンス等々高校生の素晴らしさを改めて感じました。

●全国単位PTA広報紙展示

＊県立玉野高等学校 「玉高PTA通信」

＊県立高梁城南高等学校 「松籟」

なお、来年度の第67回大会は、平成29年8月24日(木)25日(金)に静岡県(エコパアリーナ)にて開催されます。

【東日本震災及び平成28年熊本地震に係る義援金活動について】 災害義援金につきましては、多くの善意が寄せられ、皆様のご支援ご協力に心より御礼を申し上げます。それぞれ全国高等学校PTA連合会へ送らせていただき、福島県及び熊本県の高

等学校PTA連合会へ渡され、被災された生徒の支援に活用されております。

震災発生から一定の時間が経過しましたが、当連合会におきましても支援を継続いたしますので、趣旨にご賛同いただき、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

岡山県立井原高等学校PTA井原市の一大イベントとなつて「ふれあまつり」に生徒、保護者が参加し、学校と地域社会が一体となつて活発に活動している

岡山県立井原高等学校PTA井原市の一大イベントとなつて「ふれあまつり」に生徒、保護者が参加し、学校と地域社会が一体となつて活発に活動している

岡山県立井原高等学校PTA井原市の一大イベントとなつて「ふれあまつり」に生徒、保護者が参加し、学校と地域社会が一体となつて活発に活動している

岡山県立井原高等学校PTA井原市の一大イベントとなつて「ふれあまつり」に生徒、保護者が参加し、学校と地域社会が一体となつて活発に活動している

岡山県立井原高等学校PTA井原市の一大イベントとなつて「ふれあまつり」に生徒、保護者が参加し、学校と地域社会が一体となつて活発に活動している

岡山県立井原高等学校PTA井原市の一大イベントとなつて「ふれあまつり」に生徒、保護者が参加し、学校と地域社会が一体となつて活発に活動している

岡山県立井原高等学校PTA井原市の一大イベントとなつて「ふれあまつり」に生徒、保護者が参加し、学校と地域社会が一体となつて活発に活動している